

# 弦の音色 世界へ届け

## スズキ・メソードの子どもたち

音楽を通じて豊かな人間性を養う教室「スズキ・メソード」のクリスマスコンサートが二十四日、羽田空港（大田区）であった。都内や神奈川県内の教室で学ぶ子どもたちがバイオリンでクリスマスソングを奏で、知的ハブ（拠点）空港を目指す羽田空港から世界に向けて音楽を発信した。

コンサートは来年三月に長野県松本市であるスズキ・メソードの世界大会のプレイベント。四十五歳の二十人が巨大なツリーの前で「聖夜」や「キラキラ星」など九曲を演奏し、クリスマススムードを盛り上げた。

スズキ・メソードの普及を図る才能教育研究会の中嶋嶺雄会長（国際教養大学長）が、羽田空港を舞台に教育のグローバル化を目指すUHH A（ユニバーシティ・ハブ・ハネダ・エアポート）構想の有識者会議座長を務めていることからコンサートが実現。中嶋会長は「羽田から知的な要素を世界に向けて発信し、日本の活性化にも役立てたい」と構想を紹介した。

スズキ・メソードでは世界四十六カ国で四十万人が学ぶ。世界大会には三十五カ国から約六千人が参加して、研究会や演奏会が開かれる。



クリスマスソングを奏でる子どもたち＝羽田空港で